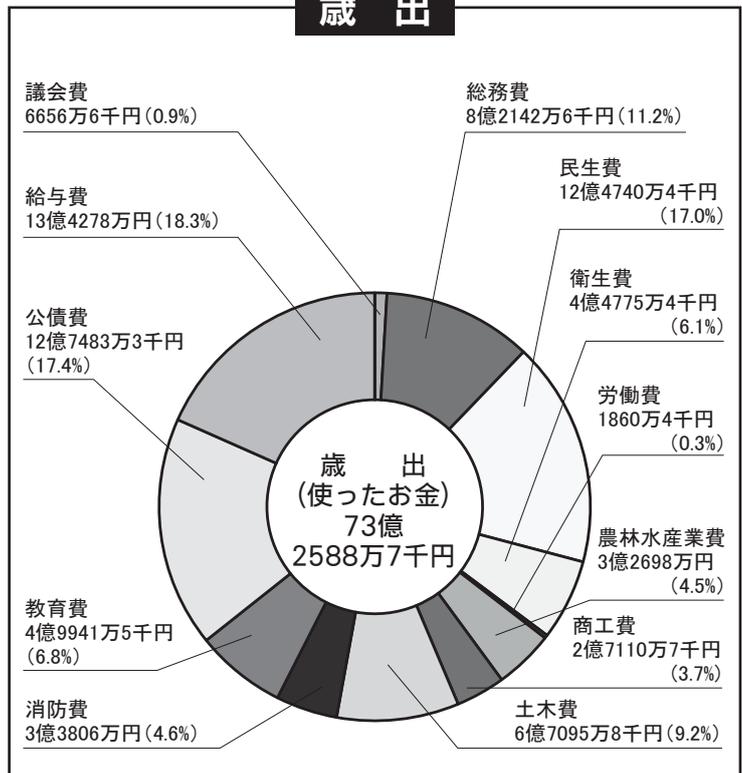




し、平成25年度末で102億1
634万5千円となりました。
町債の償還額は、平成21年度

末でピークを過ぎたものの償還
額は、依然多額で推移すること
から、新たな起債事業（借金を
して行う事業）は、長期的な施
策の展開を視野に入れ、借入を
行う必要があります。
なお、町債の残高を町民一人
当たりの借金として換算すると、
約107万円（前年度110万
円）となり、将来世代に対する
負担の軽減を今後も図るよう努
めなければなりません。
（平成26年9月末住民基本台帳
人口9、579人）

歳出



◆特別会計の状況

■国民健康保険特別会計

平成25年度の一年間に、町に入った
お金（歳入）16億2363万2千円から
使ったお金（歳出）16億1309万9千円
を差引いた額は、1053万3千円（実質
収支）となり、平成26年度に繰り越し
ました。

■公共下水道事業特別会計

平成25年度の一年間に、町に入った
お金（歳入）7億8078万4千円から
使ったお金（歳出）7億7555万5千円を
差引いた額は、522万円9千円（実質
収支）となり、平成26年度に繰り越し
ました。

■介護保険特別会計

平成25年度の一年間に、町に入った
お金（歳入）9億7058万7千円から
使ったお金（歳出）9億7388万5千円
を差引いた額は、△329万8千円（実
質収支）となり、不足額については、
翌年度歳入繰上充用金で補てんをし
ました。

■簡易水道事業特別会計

平成25年度の一年間に、町に入った
お金（歳入）8184万5千円から使った
お金（歳出）7896万4千円を差引いた
額は、288万1千円（実質収支）と
なり、平成26年度に繰り越しました。

■後期高齢者医療特別会計

平成25年度の一年間に、町に入った
お金（歳入）1億5006万円から使った
お金（歳出）1億4443万8千円を差引
いた額は、562万2千円（実質収支）
となり、平成26年度に繰り越しました。

特別会計

（単位：千円、%）

区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	収入率
国民健康保険特別会計	1,656,515	1,623,632	98.0	1,613,099	97.4
公共下水道事業特別会計	820,497	780,784	95.2	775,555	94.5
介護保険特別会計	1,002,723	970,587	96.8	973,885	97.1
簡易水道事業特別会計	83,492	81,845	98.0	78,964	94.6
後期高齢者医療特別会計	150,619	150,060	99.6	144,438	95.9

◆水道事業会計の状況

（単位：千円、%）

区 分	予算現額	決 算 額	執 行 率
収益的収支	収入	209,426	207,421 99.0
	支出	209,426	199,008 95.0
資本的収支	収入	40,636	40,636 100.0
	支出	81,741	79,066 94.9

（予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。）

収益的収支については、収入が1億9757万6千円（消費税込金額
2億742万1千円）、支出が1億9096万円（消費税込金額1億9900万
8千円）で、当期純利益が661万7千円
となりました。

資本的収支については、収入が4063
万6千円、支出が7906万6千円となり、
不足額3843万円は過年度分損益勘定留
保資金で補てんしました。

